

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公表番号】特表2004-503690(P2004-503690A)

【公表日】平成16年2月5日(2004.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-005

【出願番号】特願2002-510757(P2002-510757)

【国際特許分類】

D 0 6 M 15/507 (2006.01)

C 0 9 K 3/18 (2006.01)

D 0 6 M 13/236 (2006.01)

【F I】

D 0 6 M 15/507 Z

C 0 9 K 3/18 1 0 2

C 0 9 K 3/18 1 0 3

D 0 6 M 13/236

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月24日(2007.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (a) (1) ジカルボン酸とポリオールの少なくとも一方が芳香族またはヘテロ芳香族であることを条件として、少なくとも一種の前記ジカルボン酸と少なくとも一種の前記ポリオールの反応から誘導可能な少なくとも二個の反復単位と、

(2) (i) 前記ジカルボン酸と少なくとも一種の弗素含有モノアルコールまたは

(ii) 前記ポリオールと少なくとも一種の弗素含有モノカルボン酸の反応から誘導可能なフルオロケミカル末端基を含む少なくとも一種の弗素含有芳香族エステルオリゴマーを含む撥水撥油性付与フルオロケミカル組成物と、

(b) 処理可能な基材が少なくとも二種のポリマーの混合物を含む時に、前記混合物が層を成さないことを条件として、前記処理可能な基材とを含み、成分(a)と(b)との溶融ブレンドを形成することにより製造される、撥水撥油剤組成物。

【請求項2】 (a) (1) イソフタル酸またはテレフタル酸と約60～約300の数平均分子量を有する少なくとも一種のジオールの反応から誘導可能な少なくとも二個の反復単位と、

(2) 前記酸と少なくとも一種の弗素含有スルホンアミド基含有モノアルコールの反応から誘導可能なスルホンアミド基含有フルオロケミカル末端基を含む少なくとも一種の弗素含有芳香族エステルオリゴマーを含む撥水撥油性付与フルオロケミカル組成物と、

(b) 少なくとも一種の熱可塑性ポリマーを含む処理可能な基材であって、前記処理可能な基材が少なくとも二種の熱可塑性ポリマーの混合物を含む時、前記混合物が層を成さないことを条件として、前記処理可能な基材とを含み、成分(a)と(b)の溶融ブレンドを形成することにより製造される、請求項1記載の撥水撥油剤組成物。